

## 札幌市電ループ化好調

オリコンサルら 3停留所も整備

オリエンタルコンサルタンツがネイ&パートナーズジャパンと協働してデザイン、設計と3カ所の新設停留場

が、2015年12月20日に開業し、乗降客数が順調に伸びている。

路面電車のループ化（西4丁目～すすきの間一周8・9分）は、札幌市が迎える超高齢社会に向けて、人に優しいまちづくりの一環として利用者の利便性の向上を図るとともに、市内の回遊性を高め、札幌駅前通の魅力向上やにぎわいにつなげるため実施し、12月19日にはテープカットや



記念乗車などを行う開業記念式典が行われた。写真：オリコンサルら

同社が担当した、新設停留場（狸小路停留場（外回り、内回り）、西4丁目停留場（内回り））はVSAAPPOROの新しい顔となる先進的な構造デザイン。札幌の目抜き通りとしてのにぎわい、多様性、美しさの創出を目指して、スチールのサンドイッチパネル構造によるモノコックで彫塑的なデザイン。歩道と一体

化しスムーズに導かれる形状デザイン。札幌で初めてのサイドリザベーションによる軌道の特徴を生かして、円弧状で滑らかなデザインとし、歩道から停留場にスムーズに導かれる形状▽開放的で透明感のあるデザイン。長さ27分の停留場を両端と歩道側の3つの壁だけで屋根を支持する構造にするとともに、軌道側にある20分の開口部にガラスをはめ込み、開放的で透明感のあるデザインが特徴となっている。

札幌市交通局によると、12月20日から25日の乗客数は平日が3万2315人、日・祝日が2万2380人のほり、いずれも想定を大幅に上回り、好調な出だしとなった。